

第44回全日本バレーボール小学生大会山口県決勝大会

競技・審判上の注意

- 1 本大会は、2024年度公益財団法人日本バレーボール協会の6人制規則小学生バレーボール競技規則による。但し、選手は12名以内とする。
- 2 サービスゾーンは、エンドラインから6.5m以内の範囲とする。
- 3 参加申込みメンバーの変更有無にかかわらず受付時に「エントリー変更届」を提出すること。なお、メンバーの変更がある場合は、JVA-MRSの「チーム加入選手一覧」を添付して提出すること。
- 4 監督・コーチ・マネージャーは、マークを必ず左胸に着け、統一した服装（上は襟付きのもの、下はズボン形式で短パン、キュロットは不可、ライン・ロゴ等も統一）でベンチ入りすること。
- 5 ベンチスタッフは、JVA-MRS登録並びに宣誓書に署名しているものに限り、監督は、今年度の監督義務研修受講者であること。
- 6 監督・コーチ・マネージャーのうち一人は、公益財団法人日本バレーボール協会ならびに日本小学生バレーボール連盟が共催する指導者研修会の受講証明書を所持し、試合中には胸に下げていなければならない。（日スポ協指導員資格も可）（受講証明書を本人が受付時に提示のこと）
- 7 次の試合のチームは、前試合の両チームがコートを退き、コートチェック終了後にコートに入ること。
- 8 競技フロアに入れるのは原則、エントリーされた者のみとする。
- 9 公式練習前の練習は、同一フロアのいずれかのコートが試合中であればパスのみとする。また、ネットを利用しての練習は禁止する。
- 10 リードするチームが1・2セットは7点・14点、3セットは8点の時にテクニカルタイムアウトを健康管理のために適用し、ベンチスタッフは給水を妨げてはならない。なお、給水場所はベンチ横とする。
- 11 試合中、ボール籠は防球フェンスの外または壁際に置いておく。ドリンクなどの荷物はアップゾーンに置く。
- 12 控えの選手は、座って観戦する。アップをする場合はアップゾーンで行うこと。
- 13 選手交代は、選手をサブスティテューションゾーンに入れ、スムーズに行うこと。（監督からのシグナルは不要）
- 14 準決勝、決勝以外は原則として相互審判とする。第1試合の審判（主審・副審・線審・記録員）は、組合せ表の○印チームが行う。以後、前試合の敗者チームが行うことを原則とする。なお、細部については、審判委員長の計画による。
- 15 派遣審判員及び帯同審判員については、審判服を着用すること。ただし審判服を保有しない者については、上が白の襟付きシャツ、下は紺のズボンも可とする。
- 16 各チームとも競技の円滑な進行に協力すること。
- 17 各チームの横断幕の掲示は、自チームの試合時のみとする。
- 18 体育館での上下足の区別を必ず行うこと。
- 19 ゴミは、各チームで必ず持ち帰ること。
- 20 体育館は公共の施設である。マナーを守り大切に使用すること。電源の使用は固く禁じる。

※使用ボールについて

男子の部、混合の部はミカサ、女子の部はモルテンを使用する。